

提 案 概 要

(子育て支援施設 指定管理者)

団体名： NPO法人子ども未来ネットワーク北九州

1 指定管理者としての適性について

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
<p>各々施設の設置目的を良く理解し、その目的達成を遂げることが市民サービスに繋がると考えます。2施設の安全管理に努め、子どもの健全育成を見守り、種々子育てのサポート事業を提供し、お客様の満足度を向上させリピーターの増員を推進します。</p> <p>根幹である「子育て支援」がどうあるべきか社会の変遷を常に視野に入れ、理念、基本方針として「家族の愛」をキーワードとして掲げます。</p>
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
<p>常駐職員の人数、パート職員の絶対人数から安定的な人材確保が必要です。</p> <p>NPO法人では直接の雇用契約者は、2施設の所長を含む正規職員が3名、アテンダントが2施設合計約60数名となっています。その他の常駐職員は、NPO法人の法人社員3社からの正規雇用者を出向契約の形で構成されています。</p> <p>そうすることで、人的基盤、財政基盤が弱いNPO法人のリスクを3社で分担しています。</p>
(3) 実績や経験など
<p>平成17年度12月から「子育てふれあい交流プラザ」、平成18年4月から「子どもの館」の指定管理業務を受託、以後3期指定管理者に承認され、以下の評価を頂いています。</p> <p>平成18年度～平成19年度評価・・・83点「B」</p> <p>平成21年度～平成24年度評価・・・85点「A」</p> <p>平成26年度～平成29年度評価・・・75点「B」</p>

2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
<p>2施設には、設置目的に添ったコーナーや遊具が備えられており、日常的に設備、遊具の保守管理を徹底しお客様に安全、安心な施設を提供します。さらに、ソフトのテーマとして恒久的に存在する「家族の繋がり」を見据えた新規事業を提供し、これまでの意義深い事業とともに設置目的達成を目指します。</p>
(2) 利用者の満足度
<p>これまでのアンケートでは、2施設とも、ほぼ99%を越える高い満足度の評価を頂いています。残りの「0. ?%」については、その不満解消に向け出来る限りの方策を模索し、鋭意努力致します。</p>

【効率性】に関する取組み	
(1) 指定管理料及び収入	<p>お客様（入館者）を増やすためには、施設内を安全、安心、清潔に保ち、楽しく魅力ある事業を展開しリピーターとなるように努力する事だと思えます。これまで実施してきた事業の費用対効果を勘案しながら、極力多くの新規事業を立ち上げマンネリ感を無くすように致します。それにより入館料やその他の売り上げ増に繋がるように努力致します。</p> <p>管理費の各支出項目は、概ね平成30年度予算から算定します。</p> <p>2施設の建築は子どもの館18年、子育てふれあい交流プラザ13年経過し、ビルの躯体の経年劣化や空調設備関連また遊具等の機械類の補修で大きな出費が予想されます。これらは、ビルメンテナンス委託業者と日常の点検や保守管理に努め、早めの対応を取ることで修繕費等の軽減を図ります。</p> <p>それらを勘案して、入館者増による収入増と、経費の削減を実行しながら全体の収支バランスを保って行きます。</p>
(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性	<p>入館者数の目標設定、総売上の目標数値を基に収支計算書を作成しますが、流動的な大きな経費として広報費、行事費があり、費用対効果のみならず労力対効果も十分に検証して節約に努め、適正な運営に繋がります。</p> <p>12年間の運営実績から上記を実現させます。</p>

【適正性】に関する取組み	
(1) 管理運営体制など	<p>現在常勤職員、アテンダントは全員継続雇用致します。</p> <p>また、期間内で2施設の人事異動を視野に入れ、施設間の交流も深めます。各種の指定管理者研修や類似施設等の視察も含め、職員のスキルアップも図って行きます。</p>
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	<p>2施設に設けられた利用規程を遵守し、安全・安心な施設管理に努めます。</p> <p>また、安全対策、危機管理体制などでは、それぞれのビルが主催する避難誘導訓練、また自主企画の避難誘導訓練の実施、或いは市が主催する指定管理者研修に積極的に参加し、不測の事態に備えます。</p>

提案額（千円）

平成31年度	279,000千円
平成32年度	278,970千円
平成33年度	278,940千円
平成34年度	278,890千円
平成35年度	278,870千円